



# しおNEWS

平成 21 年 4 月 20 日 発行

発行責任者：鈴木玲央

## Vol.8

討議資料

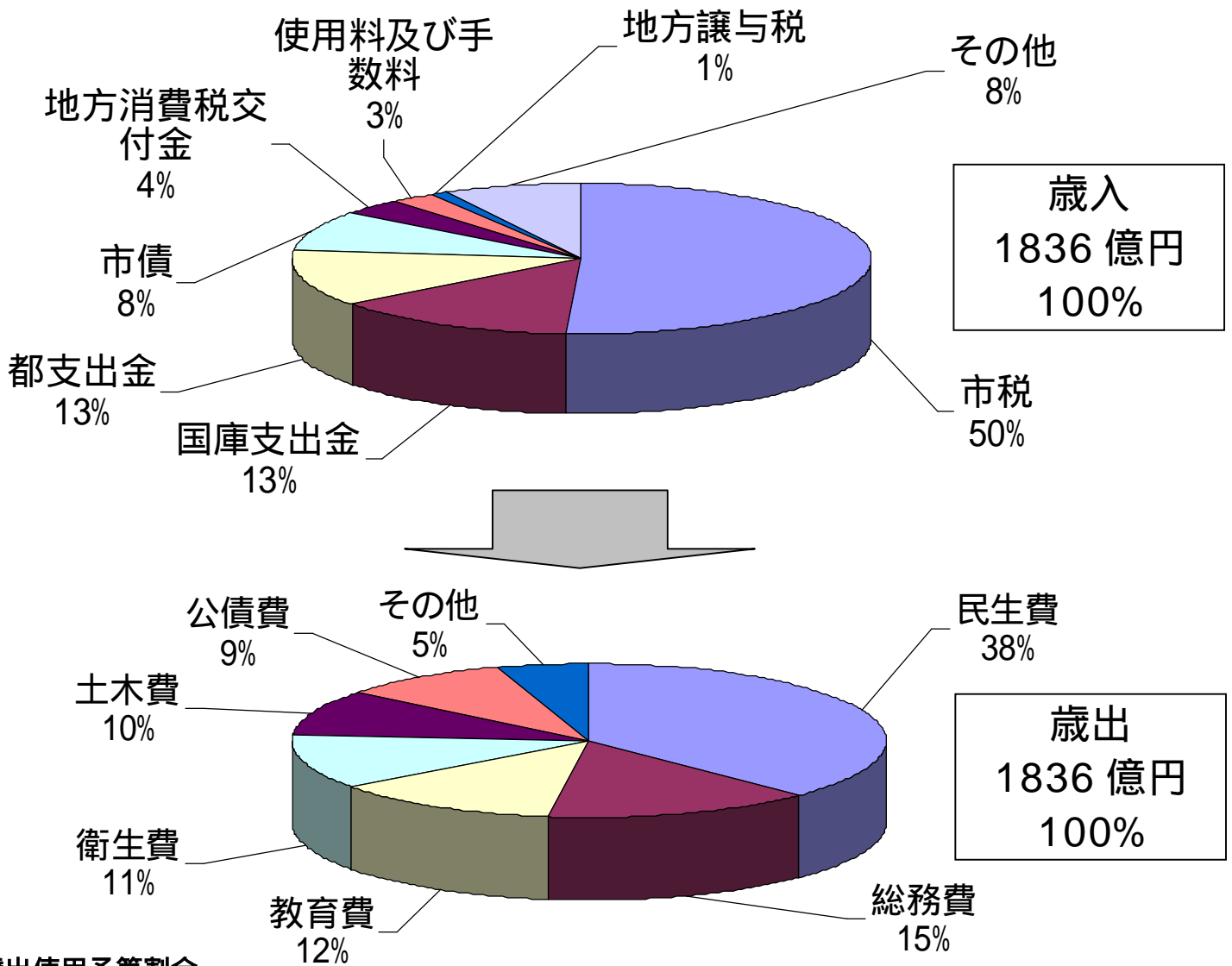
## ごあいさつ

春の訪れと共に、桜が咲き乱れ、八王子市を彩る季節となりました。皆様におかれましては、益々、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、3 月には本年最初となる第 1 回市議会が開催され、平成 21 年度の予算案が審議されると共に、賛成多数により可決させて頂きました。本年度は、経済普及の波により歳入は減少致しましたが、歳出に関しては子育て支援、市民サービスの向上を出来るよう、前年度より予算は増額となりました。

本年度も、医療体制の充実、安全安心な町づくりを目指して、議論を深めて参りたいと思います。

### 平成 21 年度 予算案 ~ 八王子元気計画推進予算 ~



#### 歳出使用予算割合

第 1 位	民生費 (38%)	児童福祉や高齢者福祉など、福祉に使用される費用
第 2 位	総務費 (15%)	庁舎維持管理や選挙費用など、行政運営に使用される費用
第 3 位	教育費 (12%)	教育設備や校舎の耐震工事など、教育全般に使用される費用

# 第 1 回 市議会定例会議 予算等審査特別委員会 総括質疑

## 質問 西八王子駅北口整備について（安全な駅前広場を）

西八王子駅北口は、平成 20 年から平成 25 年の 5 ヶ年計画で整備されているが、その整備計画はどのようなになっているのか？



現在、商店街の中通りを整備しており、平成 21 年には、西八王子駅西交差点から、駅交番前の 200M までを整備する予定となっている。平成 22 年以降は、ダイエー前の整備をし、平成 25 年には完了予定である。



## 質問 八王子駅北口整備について（昨年に引き続き質問）

昨年の第 1 回市議会定例会議にて、下記の 2 点を要望したが、その後の経過はどうなったのか？  
南口再開発と連動した、利便性向上を目指した空中回廊の延伸などの抜本的改革  
駅前地下広場から、そごうなどデパ地下へ直接入れる入り口の設置



昨年、市役所の庁内組織として「八王子駅北口駅前広場改善検討委員会」を設置し、下記の 3 点の見解が出された。今後は、これらの見解を基に、地元町会との調整を進めていく。

- 既存のマルベリーを生かした延伸
- バス・タクシー乗り場の改善
- 地下広場と駅ビルの接続を考えた活用

## 質問 妊婦健康審査について（安心な出産環境づくりを）

昨年、八王子市では妊婦健康診査の補助が 2 回から 5 回へ拡充したが、平成 21 年度では国策として 14 回へと拡充することになった。しかし、国と都から支援を頂けるのが平成 22 年度までということであるが、妊婦健康診査は女性が出産する上で大変重要な検診であるので、平成 22 年度以降も回数の減少が無いように継続的に運営して頂くよう強く要望するが、市としての考えはどうか？



平成 22 年度以降の運営については、国が「市町村における妊婦健康診査事業の実施状況を踏まえつつ、検討する」としており、国の責任で行われることとなっている。国にその必要性を働きかけると共に、昨年、回数を拡充したことにより、本年では健康診査の利用率も上がっている状況があり、本市としても必要性は十分に感じている為、今後も継続出来る様に財源の確保は行っていく。

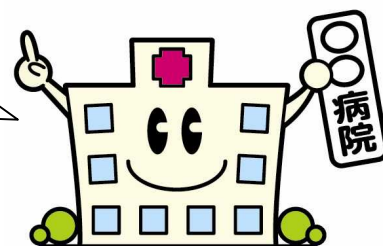
# 質問 小児医療体制の充実を（体制整備の提案）

## 都立八王子小児病院の存続についての課題

八王子市が継続するには年間 11 億円の税金投入が必要  
都立八王子小児病院は医師不足により診療体制を縮小せざるを得ない状況にまで陥っている  
NICU は 9 床しかなく、常に満床の状態に陥っている（7 割以上が市外から搬送されている）  
存続の声をあげている方は、過去のことばかりで具体的な資金や人材の対策は提案されていない

そこで、医療体制を充実させるには？

小児の救急で最も多い一次診療（急な発熱や腹痛など）は、東京都に任せるだけでは、都の方針で左右される為、八王子市と地元医師会が連携して担うことにより安定した医療を提供出来る！！



昨年より取り組みを開始！！

昨年、議会にて私が提案

都立八王子小児病院の跡地へ平岡の夜間救急診療所を移設し、救急患者への対応を強化  
障害児支援施設を誘致し、障害児への支援と、小児に対する日中外来業務を行う  
夜間救急診療所の強化により、中核病院の二次救急医療機関としての機能を高める  
東京都は広域医療圏での体制充実に向け、母体から搬送出来る小児総合医療センターを建設  
小児総合医療センターにより、多摩地域の NICU が 15 床（2 病院）から 24 床に増床  
ドクターカーが現状 1 の台から 2 台になることにより、救急搬送の体制を充実させる

そして、今回の予算質疑でさらに進めて！！

### 医療連携マップの活用

八王子市内の病院、診療所を網羅した医療連携マップ（転入者、妊産婦を始め、希望者に配布）と合わせて、予防医療の一環となるように、お子さんが病気になった際に症状によって状況が判断出来る小児の救急フローチャートの提案を昨年行い、本年の 10 月には完成し、配布出来る予定。  
さらには、医療連携マップの改訂版にも掲載予定。

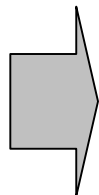
（質疑の中で提案）

### 救急コールセンター設置

夜間の電話相談が、日にちによって中核病院で分かれているのを、跡地に移設する救急診療所で電話相談を一手に引き受け、さらに専門の看護師を配置することより、電話相談への対応を充実させると共に、症状によって受診の可否などもアドバイス出来る体制を整備する。  
それにより、中核病院の負担を軽減し、外来診療の充実を図る。

副市長より早急の対応をして頂けるとの答弁！！

# 鈴木レオの活動について



春になると、いちよの枝葉により甲州街道の歩道が暗くなる為、萩生田光一代議士と協力し、駅前から御陵まで歩道専用の照明灯を設置しました。

消防団ボウリング大会に出場し、所属している第9分団が総合得点で2大会連続、3位入賞！！



電柱が歩道の中心にあり、歩行者や自転車に危険な為、電柱と道路照明灯の移動を行い、通路幅を確保しました。

平成21年4月開始となる中学校給食のお弁当です。ご飯の量や内容について足りないの、さらに充実するよう頑張ります。ちなみに、写真の牛乳は付きますが、お茶は含まれません。



中央図書館前の歩道は、歩道橋により狭く危険な為、車椅子や歩行者がすれ違えるように歩道の拡幅を行いました。



## 鈴木レオのプロフィール

1977年11月9日生まれ(31歳)

議会：総務企画委員会、議会運営委員会

少子・高齢化対策特別委員会 など

団体：八王子市消防団第9分団第3部

八王子青年会議所、八王子法人会青年部 など

発行：自由民主党東京都八王子市第二十八支部

住所：東京都八王子市並木町 36-5

TEL：042-663-9132

FAX：042-661-3688

HP：<http://leo-leo.jp>

E-mail：[info@leo-leo.jp](mailto:info@leo-leo.jp)

